スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

富山県 黒部市

自 治 体 名 ： 富山県黒部市
担 当 課 名 ： 教育委員会スポーツ課
電 話 番 号 ： 0765-54-2769

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	426,3 ㎢
人口	39,204 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	1,095 人
運動部活動数	30 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向け準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

〈中学部活動が抱える課題〉

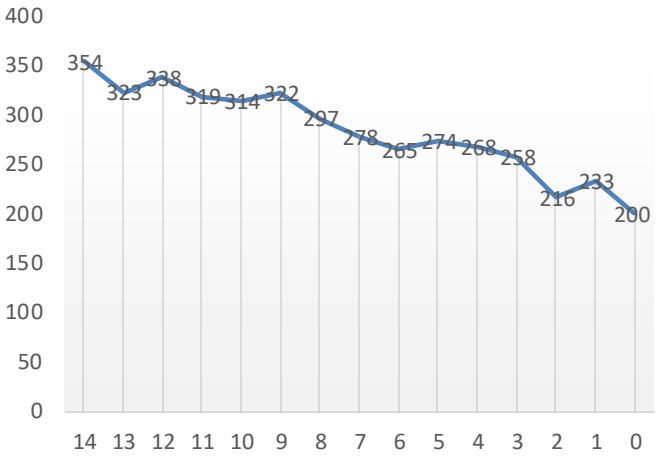
・現状部活動には満足しているが、専門的な指導を希望している生徒が多く存在している。
・中学部活動で専門的な指導が得られないことによるモチベーションの低下
・顧問が生徒の希望やニーズに応えられない。
・生徒数の減少による一部部活動における部員数不足の懸念

〈地域部活動における主な課題〉

①全部活動実施に向けた指導体制や活動を担う指導者の不足
②指導者の質の向上
③参加者の負担の増加(費用、**送迎**)
④多様なニーズへの対応
⑤教員の部活動への負担増加

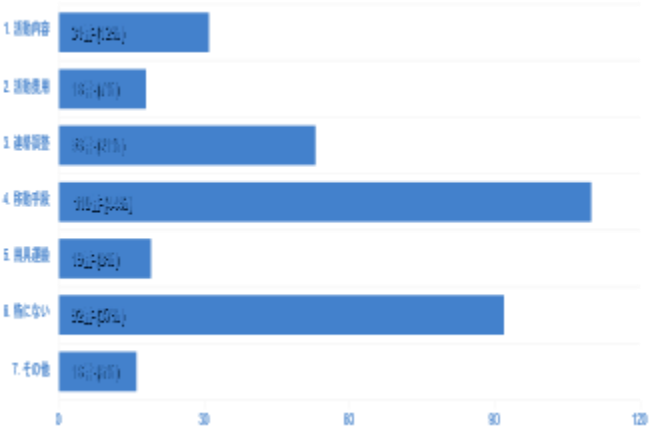
〈各競技協会が抱える課題〉

・少子高齢化の進展による競技者数の減少
・スポ少・中学部活動・高校部活動・社会人（企業チーム・クラブチーム）の一貫した指導体制の欠如
・指導機会が少ない（マンパワーの未活用）



黒部市０歳～１４歳の人口
（Ｒ６．１１月３１日現在）

Q:負担に感じること



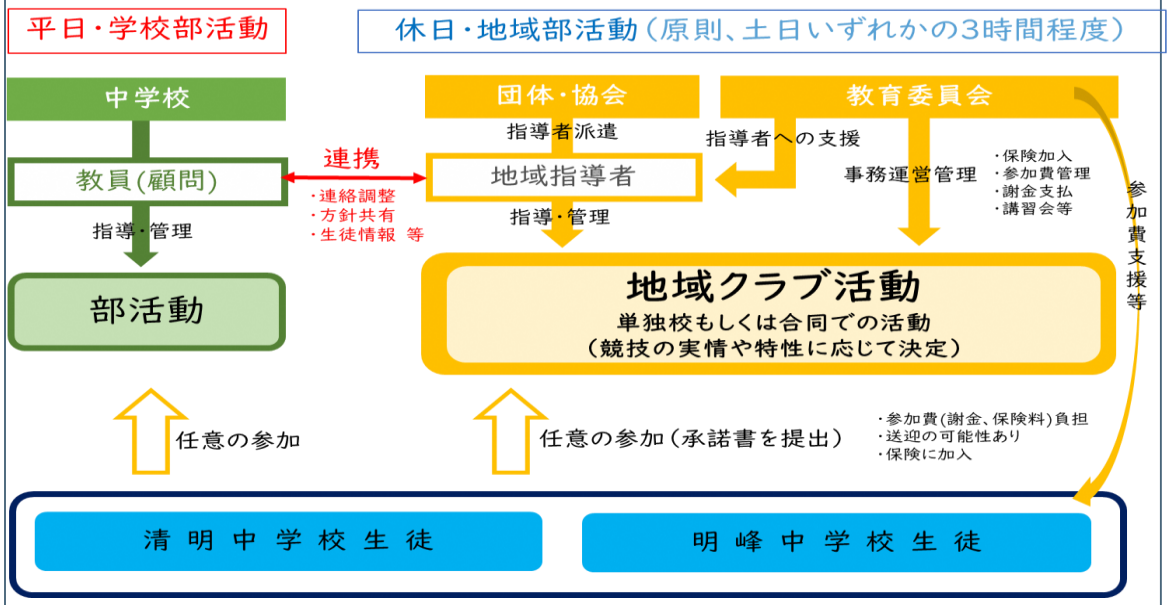
令和６年度保護者アンケート結果より

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

★教育委員会

（スポーツ課）

事務運営管理

検討会運営

競技団体との連絡調整

学校との連絡調整

各種説明会の実施

（学校教育課）

検討会への参加、文化関係団体への連絡調整

★首長部局

特になし

年間の事業スケジュール

令和６年	
４月～	令和６年度活動スタート、管理運営
４月	１年生向け説明資料の配布
５月上旬	１年生参加登録
７月下旬～８月下旬	対象クラブ指導者へのヒアリング
８月～10月	保護者へ参加料の納付案内
11月下旬	地域移行方針に向けた中学校校長との協議
11月～12月	各競技ごとの話し合い、ヒアリング
12月上旬	対象部生徒・顧問アンケート実施

令和７年	
1月	あり方検討会
1月下旬	中学校説明会で新入生へ説明
３月上旬	新規開始部活動説明会
	教職員向けに理解促進のための資料配布
３月下旬	指導者説明会
３月末	新２，３年生参加登録

通　年
競技関係者との打ち合わせ、課題検討
参加者管理（参加登録、保険対応等）
指導者管理（指導者登録、報告書管理、謝金支払）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	12クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		12 クラブ（24 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	62 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
清明中学軟式野球クラブ	黒部市教育委員会	軟式野球	週１回	9:00 ～12:00	１年：４ ２年：４ ３年：８	通年	学校グラウンド	５人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
明峰中学軟式野球クラブ	黒部市教育委員会	軟式野球	週１回	9:00 ～12:00	１年：10 ２年：11 ３年：２	通年	学校グラウンド	２ 人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
明峰中学女子バレーボールクラブ	黒部市教育委員会	バレーボール	週１回	9:00 ～12:00	１年：４ ２年：５ ３年：４	通年	学校体育館	３ 人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
明峰中学男子バスケットボールクラブ	黒部市教育委員会	バスケットボール	週１回	9:00 ～12:00	１年：４ ２年：19 ３年：６	通年	学校体育館 社会体育施設	4人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
明峰中学女子バスケットボールクラブ	黒部市教育委員会	バスケットボール	週１回	9:00 ～12:00	１年：４ ２年：４ ３年：５	通年	学校体育館 社会体育施設	２人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
明峰中学アーチェリークラブ	黒部市教育委員会	アーチェリー	週１回	9:00 ～12:00	１年：10 ２年：14 ３年：６	通年	学校ピロティ 社会体育施設	２ 人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
陸上競技クラブ	黒部市教育委員会	陸上競技	週１回	9:00 ～12:00	１年：30 ２年：12 ３年：13	通年	市外陸上競技場	９人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
柔道クラブ	黒部市教育委員会	柔道	週１回	9:00 ～12:00	１年：６ ２年：４ ３年：３	通年	学校武道場 市内武道場	４ 人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
剣道クラブ	黒部市教育委員会	剣道	週１回	9:00 ～12:00	１年：16 ２年：11 ３年：８	通年	学校武道場 市内武道場	４人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動
バドミントンクラブ	黒部市教育委員会	バドミントン	週１回	9:00 ～12:00	１年：20 ２年：30 ３年：22	通年	学校体育館 社会体育施設	12人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務１人）	年会費 １年:5,500円 ２年:6,000円 ３年:2,000円	部活動 クラブチーム
ソフトテニスクラブ	黒部市教育委員会	ソフトテニス	月２回	9:00 ～12:00	１年：35 ２年：12 ３年：10	通年	市内テニスコート	13 人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務１人）	年会費 １年:2,250円 ２年:3,000円 ３年:1,000円	部活動
卓球クラブ	黒部市教育委員会	卓球	月２回	9:00 ～12:00	１年：８ ２年：３ ３年：２	通年	学校体育館	２ 人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務１人）	年会費 １年:2,250円 ２年:3,000円 ３年:1,000円	部活動

2.実証内容と成果

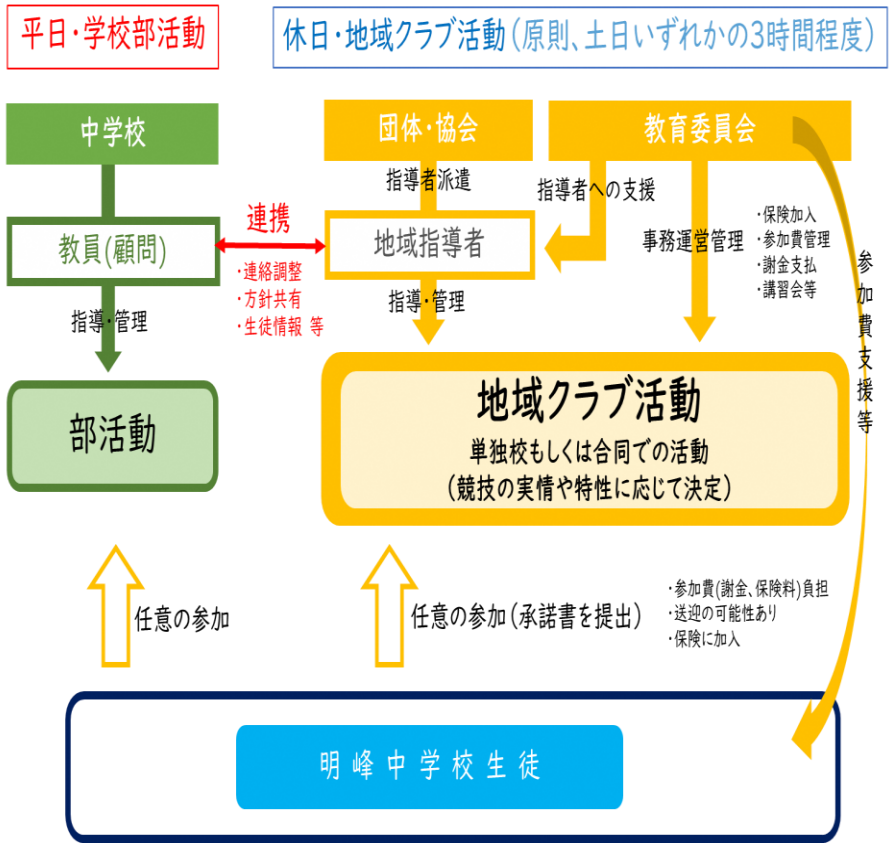
スポーツ庁

主な取組例

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校名	明峰中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	14部活動/全16部活動中
地域クラブ活動で実施した種目	女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、アーチェリー、陸上競技、柔道、剣道、バドミントン、ソフトテニス、卓球、軟式野球
運営主体名	教育委員会スポーツ課
運営類型	市区町村運営型（競技団体連携型）
１か月あたりの平均的な活動回数	●週１回程度：女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、アーチェリー、陸上競技、柔道、剣道、バドミントン ●月２回程度：ソフトテニス、卓球
指導者の主な属性	競技協会からの派遣指導者
活動場所	中学校体育施設、市内体育施設、市外陸上競技場
主な移動手段	保護者送迎、徒歩、自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	●週１回種目：1年5,500円、2年6,000円、3年2,000円 ●月２回種目：1年2,250円、2年3,000円、3年1,000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

体制図・役割分担



2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

〇運営団体・実施主体の運営体制の整備を関係者で協議する

〇指導者や教員等の関係者へのヒアリングを実施する

〇１種目が高校との合同練習を実施していることから、他競技でも実施可能かを高校と協議する

〇未実施である種目の競技団体、部活動指導者と地域展開に向けての展望を協議する

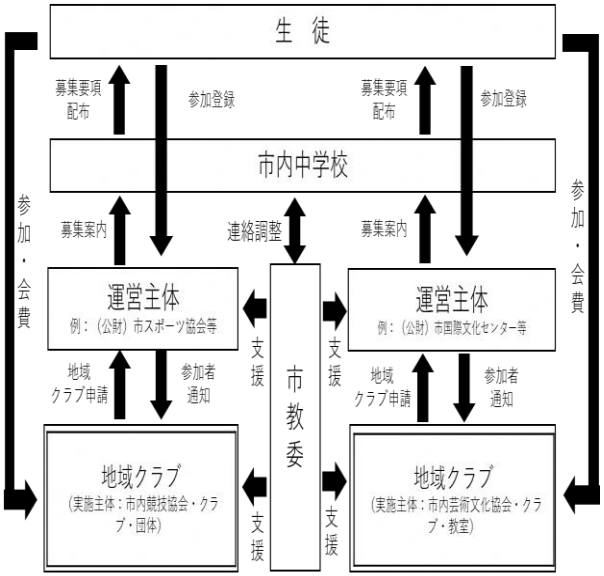
取組の成果

〇あり方検討会で方向性を示すことができ、競技協会の中でも本格的にクラブ立ち上げの動きがあるなど、地域移行の意識の促進を図ることができた

〇運動部の将来的な運営主体の受け皿として市体育協会が関わる形で合意(右図イメージ)

〇レクリエーション（マルチ）スポーツ教室の開講について、総合型スポーツクラブに依頼し、合意

〇未実施種目（サッカー競技）において、既存のクラブチーム内に中体連クラブチームの立ち上げを合意（R7年度内に体験会などを実施予定）



コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

●配置していない

今後の課題と対応方針

・地域クラブ登録に向けた要件の設定

・運営体制の具体化

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

〇研修への積極的な参加促進と支援
・指導者向けの研修の場を用意(市独自1回、県研修会への参加促進)。研修は、２年間のうちに必修（コンプライアンス、救命救急）

〇指導者資格取得促進
・指導者資格取得のための補助制度を用意

〇安全・安心な活動の実施に関する取組
・市民病院との連携（スポーツ障害チェック）を実施

種目

〇24/30運動部から2運動部増え、26/30運動部で年間を通して実施することができた

〇部活動にない種目について、総合型SCに委託し、マルチスポーツ教室等の開講を合意

資格有無

〇コーチ資格保有者は17/62名、審判資格を含めると33/62名
　今後、資格取得補助を継続し、資格取得を推奨し、資格方者数を拡大する必要

取組の成果

・資格取得補助活用者は１名（昨年0名）であったが、取得が年度をまたぐような資格もあり、取得促進には効果的であった

・スポーツ少年団、クラブチームを対象に実施していたスポーツ障害チェックの対象を地域クラブ活動も含めて実施（地域クラブ申込数：４団体60名）

今後の課題と対応方針

・研修会の継続した案内
・指導者説明会での研修の案内(早めの通知)
・指導者資格取得促進　→　実情に応じた制度の検討







黒部市スポーツ障害チェック配布資料より

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

〇各競技団体と連携し、実施主体及び指導者の派遣を依頼

・「どうすれば実現できるか」を大切にし、指導者と協議をすすめた

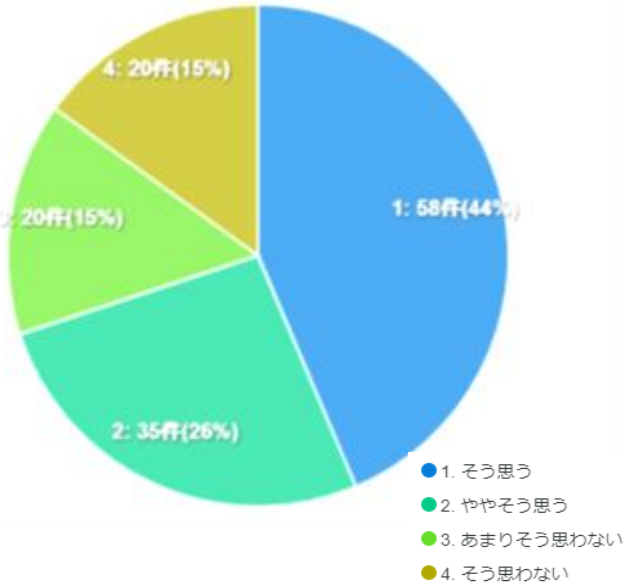
・生徒の「もっと活動がしたい」というデータを実施主体となる競技協会へ提示し、活動拡大への理解促進に努めた

取組の成果

・各競技協会、競技団体から62名（昨年55名）の指導者の登録

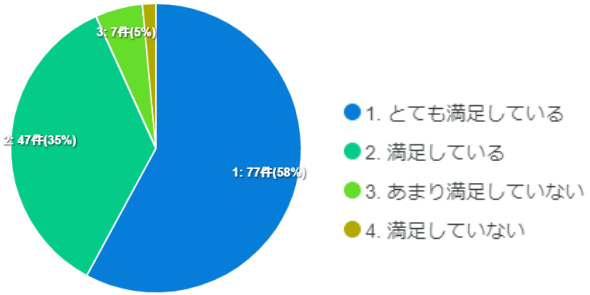
・次年度、クラブチームとして2競技開始できるよう調整（男子バスケットボール、女子バレーボール）

地域の指導者に平日も教わりたいと思いますか

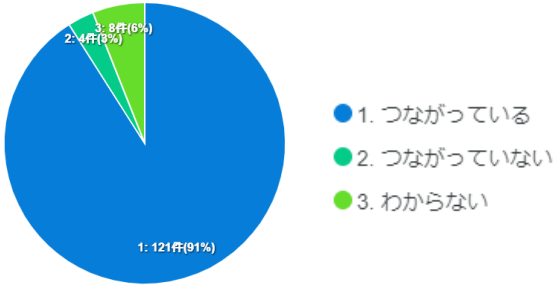


令和６年度　参加生徒アンケート結果より

▼活動全般



▼技術向上や意欲向上につながっているか



令和６年度　参加生徒アンケート結果より

今後の課題と対応方針

・学校部活動にない競技においても、競技協会及び競技団体に広げていく必要

・クラブ化、平日への移行など事業拡大に伴う財源確保

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

〇市内全2中学校
清明中学校10部活動/全14部活動中
明峰中学校14部活動/全16部活動中　計24部活動を対象に実践
＜清明中学校＞
①陸上競技　②柔道　③剣道　④男子バドミントン　⑤女子バドミントン
⑥男子ソフトテニス　⑦女子ソフトテニス　⑧男子卓球　⑨女子卓球
⑩軟式野球
＜明峰中学校＞
①女子バレーボール　②男子バスケットボール　③女子バスケットボール
④アーチェリー　⑤陸上競技　⑥柔道　⑦剣道　⑧男子バドミントン
⑨女子バドミントン　⑩男子ソフトテニス　⑪女子ソフトテニス
⑫男子卓球　⑬女子卓球　⑭軟式野球

自治体の役割

〇黒部市教育委員会
・地域クラブ運営、予算管理
・関係機関との連絡、調整
・理解促進に向けての広報
・諸謝金等の事務処理

取組の成果

・24部活動12クラブで通年実施
・参加した中学生を対象としたアンケートの結果、回答者の93%が満足という回答。また、91%が意欲・技術向上を感じていた
・同アンケートにおいて、70%の生徒が平日も地域指導者に学びたいという結果
・生徒にとって、有意義な活動となっていたと評価できる

各競技における工夫

・各校男女が分かれている部活動において、実際の指導現場では、指導者と場所を確保してもらい、学校合同男女別に行うなど、継続して充実した活動となるよう工夫されていた

・スポーツ少年団、企業チームなど他団体と連携しながら休日、平日の活動を実施し、指導者や選手不足を補おうと工夫されていた

今後の課題と対応方針

・文化部を含めた、未実施競技への活動拡大
・平日への活動拡大
・クラブ化への活動拡大

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組の成果

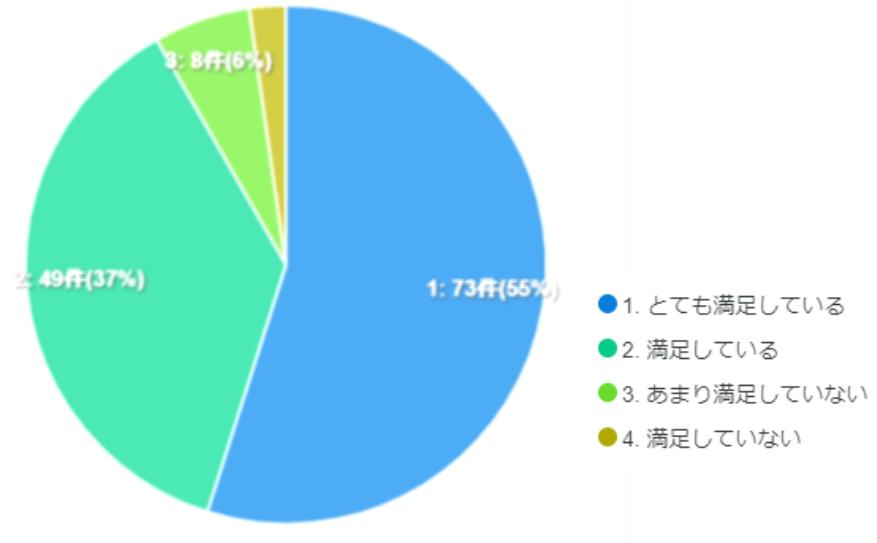
・昨年22/30部活動で実施だったが、今年度は24部活動に増加

・複数の指導者による活動・指導の充実
（例　陸上：種目別の指導
　　ソフトテニス、バドミントン：習熟度別の指導）

・参加生徒対象アンケートでは、92%が指導内容に満足していると回答

・総合型ＳＣにレクリエーション（マルチ）スポーツ教室の実施を委託

▼指導内容



令和６年度　参加生徒アンケート結果より

今後の課題と対応方針

・平日への活動拡大
　準備の整った競技から、将来クラブ化に向けて活動を拡大、拡充していく必要がある。そのため、クラブの登録条件整備、支援方法の決定、財源確保などの課題を解決しなければならない。
　来年度、２つの競技がクラブ化する予定だが、これを成功例として、他団体へ推奨するために更なる環境整備を進めていく。

・レクリエーション種目の内容検討
　総合型ＳＣでのレクリエーション種目の教室を充実したものとするよう、生徒のニーズ把握等に努め、実態に応じた教室にしていく必要がある。
　また、生徒や指導者を対象とした研修、教室等を充実させ、更なる満足度アップにつなげたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組の成果

〇困窮世帯への支援に関する取組

・経済的困窮世帯の生徒が地域スポーツクラブ活動に参加する場合、 参加費、保険料を全額免除する

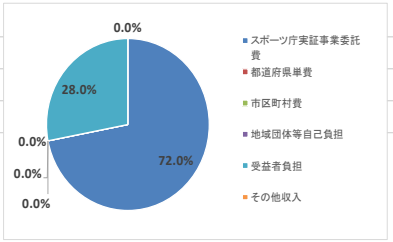
・条件等は就学援助制度と同等とする

〇成果

・14名〈昨年11名〉が申請

収支バランス

費目	種別	収入額	割合
	スポーツ庁実証事業委託費	4,170,252	72.0%
	都道府県単費	0	0.0%
	市区町村費	0	0.0%
	地域団体等自己負担	0	0.0%
	受益者負担	1,624,700	28.0%
	その他収入	0	0.0%
総計		5,794,952	



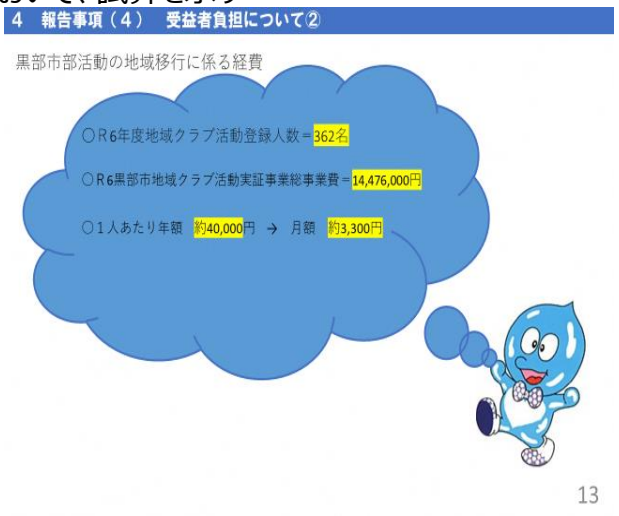
運動部活動の地域スポーツクラブ活動への移行に向けた取組（スポーツ庁事業＋自治体独自事業）	自己調達割合（都道府県・市区町村費＋受益者負担＋その他）	28%
	受益者負担割合	28%

「委託経費決算書より」

〇費用の大部分を休日の指導者謝金に使用しているため、今後活動が拡大した際への報償費や補助の方法について、検討していく必要がある

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

〇単純計算ではあるが、方向性協議において、試算を示す



今後の課題と対応方針

今後、地域クラブ化がすすみ、各クラブに受益者負担が発生した際にも、何らかの免除制度を持続していくために、会費の適切な設定・徴収方法の検討や、保護者負担経費の調査を検討していく必要がある。

また、活動にかかるその他費用についても支援できるような方法も検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

〇学校部活動で使用している施設、用具を活用して実施（学校顧問に協力してもらい利用調整を行う）

〇学校施設を利用する際、学校開放の施錠の管理の仕組みを活用

〇旧小・中学校の施設利活用　例）アーチェリー：旧小学校グラウンドに簡易練習場を設置（写真）



〇学校開放の時間帯を調整できるように協議する

〇地域クラブが学校施設を利用時の責任の所在について協議する

取組の成果

・学校施設、部活動用具を共用して実施
・地域移行未実施の部もあることから、顧問教員が利用調整を実施

今後の課題と対応方針

・平日の移行も見据えた学校開放事業等の見直し（時間やルール等）
・地域スポーツクラブ活動のために学校施設を使用する場合の優先利用等の検討

2.実証内容と成果

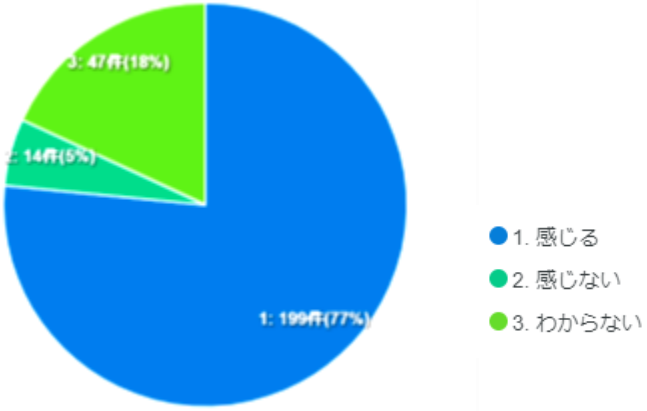
スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

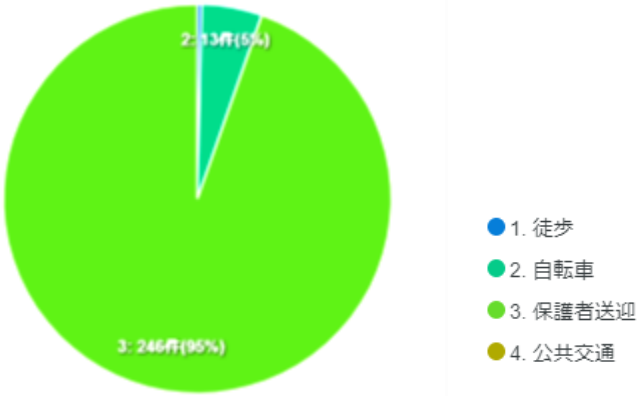
○資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

【令和６年度参加生徒保護者アンケート結果】

▼地域クラブ活動がお子様の技術・意欲向上スポーツ活動を通じた成長につながっていると感じますか



▼主な移動手段について



【令和６年度保護者アンケート結果】

●保護者の声

▼地域クラブ活動がお子様の技術・意欲向上スポーツ活動を通じた成長につながっていると感じる理由

・土日ということで、平日よりも時間の確保が出来ていると感じるため。

・指導者の皆さんが子供のやる気に真剣に向き合ってくださるので、本人も目標を持って一生懸命取り組んでいます。
全国大会への出場も本人の頑張りと指導者の方の惜しみない協力のおかげだと思います。メンタル面も強くなったと思います。競技以外のことも前向きに取り組むようになったと思います。

・挑戦することの楽しさを感じているように思う。

・平日の部活動の時間が限られている中で、まとまった時間が確保でき、その中で練習や友達との関係が深められるため。

・そのスポーツの経験者からの指導は、技術の向上に繋がる事、全国レベルの高校生や大人と一緒に練習や試合できる環境は、全国大会が手の届く大会と感じられ、意欲や努力する気持ちを養えると思います。

・平日の部活動だけでは、活動時間も短く、物足りないようなので、地域クラブ活動に参加することで技術力が上がっているように思います。

・指導者さんから専門的技術や知識などを教えてもらえる。様々な年代の人とコミュニケーションを経験できる。

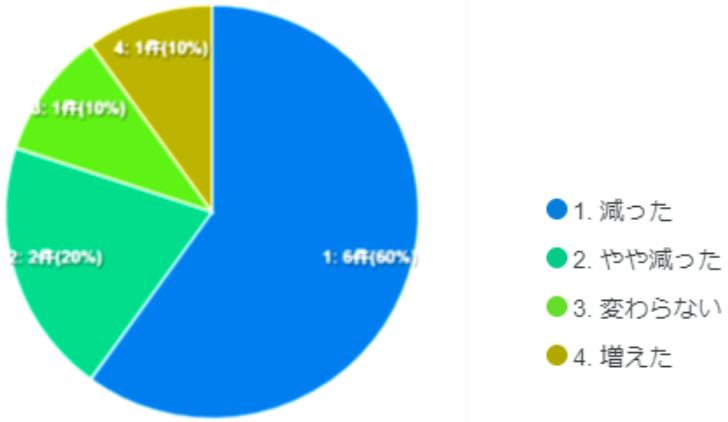
2.実証内容と成果

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

【令和６年度部活動顧問アンケート結果】

▼①部活動指導の負担感は減りましたか



▼①の理由を教えてください

・休みの日は増えたが、チーム運営を任せたわけではなく、指導者同士の打ち合わせや相談は多くなる。

・土日に部活動を実施する日が減ったため。

・土日などは部活動をクラブチームで行なっていただけるので、昇段審査や試合がない時は任せることができた。

・競技について全く知識も経験も無かったので、そこを一手に引き受けていただいているため。
また、家庭があり、地元の方に見ていただけるのは非常に有り難いです。

・休日に家のことをできるようになったから。

・休める日が増えたため、体の調子が良くなった。家族過ごせる時間が増えた。

・土日祝日の部活動には、基本的に顧問は参加しなくなりました。

●参加生徒の声

▼指導内容について（とても満足、満足と回答）

・学校の先生とは、また違った観点から教えてもらえるから。

・経験が豊富な人が教えてくれることで上達する。

・成長していることを実感できるから。

▼指導内容について（あまり満足していない、満足していないと回答）

・基礎的な練習や、試合ばかりなのであまりポイントを決めれるような技を習得できないから。

・時間が少ない。もっと長くしてほしい。

▼活動全般について（とても満足、満足と回答）

・わからないことや困っていることはいつでも相談できる環境であり、色んな人とのコミュニケーションも取れるため将来に役立つと思う。

・試合でも実践出来るような意味のある練習内容だから。

・好きなスポーツを専門的に学ぶことができるから。

▼活動全般について（あまり満足していない、満足していないと回答）

・ただただ言われたメニューをこなしているだけだから。

・練習時間が短い。外部コーチが少ない。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

24/30運動部活動を対象に実証事業を展開した。
指導者とのヒアリングで各競技における課題把握では、競技ごとに様々な課題が挙がったが、全競技に共通した課題を洗い出すことができた。課題については次の通り。
①移動手段の確保　②指導者の確保　③活動場所の確保
今後、①～③について、他市町村の事例等を参考にしながら本市に適応する解決策を検討していく必要がある。
今年度も参加生徒、保護者、部活動顧問、指導者を対象にアンケートを実施した。アンケート結果からは、おおむね前向きな意見をいただいているが、送迎や移動に負担を感じている保護者、生徒も多数存在する。貴重な意見を今後の活動につなげ、持続可能な活動となるよう、環境整備をしていかなければならない。
「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめより、改革実行期間が前期、後期と設定されたことに伴い、本市でも部活動を地域へ展開していく期間について検討することができた。

●成果の評価

〇２競技（男子バスケットボール、女子バレーボール）が地域クラブ化となる予定。
〇指導者不足や選手不足解消のため、より質の高い活動とするため、スポーツ少年団、企業チームといった他団体と合同で練習する競技の増加。

●今後に向けて（課題）

〇地域クラブ登録要件の整備
〇活動場所確保に向けた予約方法や優先順位等の規約整備
〇具体的な支援方法（補助金等）
〇生徒・保護者・教員・競技協会等、関係者へ文化活動も含めた方針の周知
〇多様なニーズに応えるための教室やマルチスポーツクラブの検討
〇移動手段確保に向けた施策
〇指導者確保に向けた施策

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料（活動写真）





【陸上競技：種目別練習】

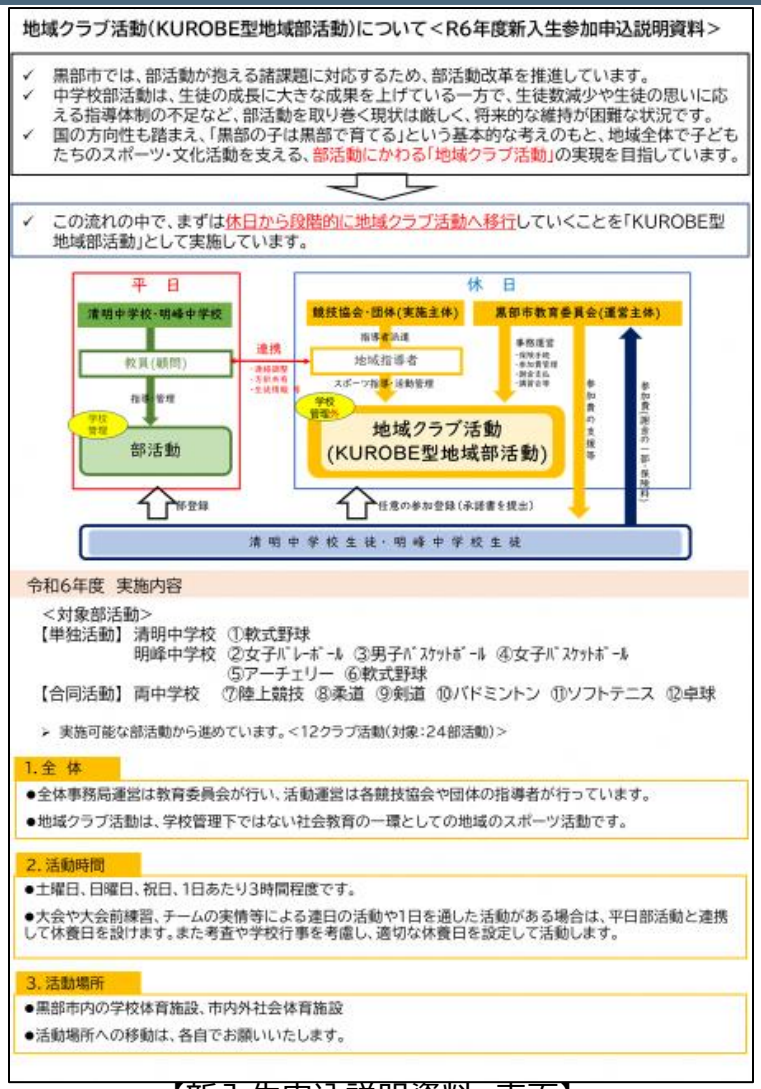


【卓球：スポーツ少年団との合同練習】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（広報資料）



地域クラブ活動(KUROBE型地域部活動)について＜R6年度新入生参加申込説明資料＞

- ✓ 黒部市では、部活動が抱える諸課題に対応するため、部活動改革を推進しています。
- ✓ 中学校部活動は、生徒の成長に大きな成果を上げている一方で、生徒数減少や生徒の思いに応える指導体制の不足など、部活動を取り巻く現状は厳しく、将来的な維持が困難な状況です。
- ✓ 国の方向性も踏まえ、「黒部の子は黒部で育てる」という基本的な考えのもと、地域全体で子どもたちのスポーツ・文化活動を支える、部活動にかわる「地域クラブ活動」の実現を目指しています。

- ✓ この流れの中で、まずは休日から段階的に地域クラブ活動へ移行していくことを「KUROBE型地域部活動」として実施しています。

令和6年度 実施内容

＜対象部活動＞
【単独活動】 清明中学校 ①軟式野球
明峰中学校 ②女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ ③男子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ ④女子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ ⑤アーチェリー ⑥軟式野球
【合同活動】 両中学校 ⑦陸上競技 ⑧柔道 ⑨剣道 ⑩バドミントン ⑪ソフトテニス ⑫卓球

▸ 実施可能な部活動から進めています。＜12クラブ活動(対象:24部活動)＞

1. 全 体
- ●全体事務局運営は教育委員会が行い、活動運営は各競技協会や団体の指導者が行っています。
- ●地域クラブ活動は、学校管理下ではない社会教育の一環としての地域のスポーツ活動です。

2. 活動時間
- ●土曜日、日曜日、祝日、1日あたり3時間程度です。
- ●大会や大会前練習、チームの実情等による連日の活動や1日を通した活動がある場合は、平日部活動と連携して休養日を設けます。また考査や学校行事を考慮し、適切な休養日を設定して活動します。

3. 活動場所
- ●黒部市内の学校体育施設、市内外社会体育施設
- ●活動場所への移動は、各自でお願いいたします。

【新入生申込説明資料　表面】



4. 指導者
- ●指導は、原則、指導者2名以上の体制で行います。
- ●(本人希望により)顧問教員、学校部活動を指導する外部指導者が地域指導者を兼務することがあります。
- ●地域クラブ活動指導者ガイドラインに沿って指導します。
- ●指導者は、研修会や講習会に参加しながら、資質向上を図ります。
- ●指導内容、生徒の様子について学校顧問と共有します。

5. 大会参加、遠征等
- ●現時点では、中体連大会は、顧問が引率する中学校単位の学校部活動として参加する予定です。競技によっては、今後地域クラブとして大会に参加することも想定されます。
- ●そのほかの大会や遠征等は、地域指導者の引率で参加可能としています。

6. 連絡体制
- ●競技ごとに、連絡(主に出欠や活動変更等)方法が異なりますので、下記の競技別内容からご覧ください。
- ●緊急時には、指導者が「緊急時のマニュアル」をもとに、迅速かつ適切な対応を行います。申込時に、提出していただく緊急連絡先を指導者に共有し、対応します。

7. 保険
- ●スポーツ安全保険に加入します。(競技によっては既存クラブ対応とすることもあります)
- ●補償内容は、学校加入の保険とほぼ同等のものです。

補償内容はこちら→

8. 参加費
- ● 参加者には、参加費(主に指導者謝金の一部)と保険料を個人負担していただきます。
  - ①参加費:週1回程度の活動　3年生2,000円/年　2年生6,000円/年　1年生5,500円/年
  - ≪全体運営費用≫ ← 全参加者の参加費 ＋ 公費(国、市)
  - ※活動予定頻度に応じて参加費が異なります。詳細は下記の競技別内容をご覧ください。
  - ②個人保険料:　800円/年
- ● 就学援助世帯に認定されている方は、参加費を支援しておりますので、教育委員会までご連絡ください。
- ● このほかに競技によってはかかる用具費や遠征費等を集金することがあります。

9. 参加・脱退方法
- ● 学校部活動とは別に加入申込が必要です。WEB上で参加申込フォームに記入し、提出をお願いします。
- ● 地域クラブ活動を辞められる場合は、HPにある参加辞退フォームをご利用ください。
  (申込のあった翌月から当年度3月末までの参加費を返金します)　※ただし、保険料分の返金はございません

参加の申込について

R6年度新入生参加について、
5月7日(火)までにお申込ください。

参加申込フォーム　競技別内容

お問合せ:黒部市教育委員会　スポーツ課　(0765-54-2769)

【新入生申込説明資料　裏面】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和３年６月　　**令和３年９月**　　**令和４～６年**

協議会設置、検討開始、拠点校の選定、受け皿団体や指導者の選定 → 学校現場との調整 → 生徒、保護者、指導者への説明、指導者講習の実施 → 地域クラブ活動の開始 → 地域クラブ活動の拡大

●検討会メンバー
教育長、中学校校長、市中体連、各競技協会代表者、市体育協会、PTA代表
●経過
①教育委員会が主導であり方検討会の設置
②協力可能な競技協会の競技で拠点校を決定
③競技協会へ指導者の派遣依頼
●実施にあたって生じた課題
・実施競技の選定方法
・指導者の条件
●工夫した点　等
・事前に計画を提示し、スポーツ課が競技協会へ協力を打診。可能な競技が複数確保できたところで、検討会を設置し、協議。
・競技協会が推薦する指導者を選定

●関係者
・学校長、教頭、事務局
●経過
・複数回の打合せ、申し合わせを実施。
・教職員と意見交換を行った。
●実施にあたって生じた課題
・生徒の移動手段
・道具の共用・運び出し
・鍵の管理
・実施開始日
・連絡体制
・兼職兼業
・顧問と指導者の打ち合わせ
●工夫した点　等
・学校側と以上課題の注意点や現状のルール等を確認したうえで、要項など作成。

●経過
・保護者説明会を各校で実施
・指導者説明会を実施
・指導者向け救急救命講習を実施
・地域クラブスタート
・指導者に同時に県研修会への参加を促す。

●工夫した点　等
・地域クラブスタートは、大会がひと段落した時期から実施。
・既存の県の部活動指導者研修会に参加させてもらえるよう県保健体育課に依頼し、指導者が参加した。

●経過
・Ｒ４～５はすで地域クラブとして活動しているものは継続実施
・Ｒ６～両校軟式野球部が新たに実施
・Ｒ４途中、学校部活動意識調査を実施
・未実施の競技の競技協会への打診、依頼
・実施可能となったところから随時拡大

●工夫した点　等
・生徒のニーズを把握して、競技協会へ提示しながら、地域クラブを受けていただけるよう打診した。
・週１回、月２回など競技の実情に応じたスタートを可とすることで実施競技拡大につながった。

3.今後の方向性

スポーツ庁

黒部市地域連携・地域展開の推進に向けたロードマップ

